

## T20200905\_01\_OpenEye

### Open Eye, 53Gbps/レーンマルチモード SR4 とシングルモード LR 仕様

Open Eye Consortium (Open Eye MSA)はレーン当たり 53Gbps アプリケーションをターゲットとする 2つの新しい仕様を発表した。100メートル向け SR4 はマルチモードファイバ(MMF)、10km 用 LR はシングルモードファイバ(SMF)伝送。これら新しい仕様は、Open Eye MSA が以前に発表した 200Gbps FR4 仕様を補完するものである。Open Eye MSA は、50G SFP, 100G DSFP, 100G, SFP-DD, 200G QSFP, 400G QSFP-DD および OSFP モジュール、アナログ PAM-4 ソリューション要件を定義している。

データ需要増で、ワイヤレス、エンタプライズおよびデータセンタネットワークマネージャは、低消費電力、小型サイズ、低コストを促進する方法を継続して探している。Open Eye MSA の新しい仕様は、顧客にハイパワー、高コスト DSP ベースソリューションの代替を提供することになる。これらの仕様は、53Gbps SFP28 長距離(LR) および 200Gbps QSFP 短距離 (SR)は、次世代 5G ワイヤレス、エンタプライズおよびデータセンタネットワークングアプリケーションの光モジュール設計者にとって最適である。

Open Eye MSA の目的は、PAM-4 光インタコネクタの採用を促進し、50Gbps、100Gbps、200Gbps、400Gbps に拡張することである。これには、現行の DSP アーキテクチャに加えて、既存標準を拡大し、複雑さを減らし、より低電力で最適化されたアナログ CDR ベースアーキテクチャを利用して光モジュールの実装を可能にする。